

日本政策投資銀行から7年連続「BCM格付」の最高ランクを取得



「DBJ BCM格付」認定証

当社は、このたび株式会社日本政策投資銀行（以下、「DBJ」という。）が実施する「DBJ BCM格付」において、2014年度から引き続き、7年連続で最高ランクの格付を取得しました。

「DBJ BCM格付」は、DBJが開発した独自の評価システムにより、防災および事業継続への取り組みが優れた企業を評価・選定し、その評価に応じて融資条件を設定するという、「BCM格付」の専門手法を導入した世界で初めての融資メニューであり、今回の審査では、

- (1) 「災害に強いトラックターミナル」の実現に向けて、オールハザードに対する全社横断的な組織としてリスクマネジメント委員会を運営し、その実行組織たるリスク管理部会を中心に、自社を取り巻くリスクの網羅的な特定に努めている点
- (2) 重大な社会的役割を担う広域輸送基地の開設を、発災後速やかに完了するべく、ターミナルの耐震・免震化に加え、地震モニタリングシステムの活用と定期的な参集訓練の実施により、更なる初動対応の迅速化に努めている点
- (3) ターミナルの早期復旧に向け、応急危険度判定士や資機材の受援にかかる総合建設事業者や専門工事事業者との協定締結先を着実に拡大させる等、重要経営資源の確保に務め、事業継続戦略の実効性向上を図っている点

等の取り組みが評価され、「防災および事業継続への取り組みが特に優れている」という最高ランクの格付を7年連続で取得しました。

当社は、今後も引き続き防災および事業継続の取り組みを積極的に進め、「災害に強いトラックターミナル」を構築してまいります。

以上